

報道各社御中 ← 環境省広報室

宮城県栗原市での家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う野鳥緊急調査チームによる調査の結果について
(H29.3.29 16:30)

宮城県栗原市の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザ発生を受けて、3月28日から29日に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況等の調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

1 調査結果

○3月28日から29日にかけて、宮城県栗原市の発生地点周辺半径10km圏の野鳥監視重点区域内及びその周辺の、渡り鳥の飛来地等の計10地点において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。野鳥の大量死は認められなかった。
○なお、調査チームの派遣期間内に、宮城県、岩手県による当該10km圏内の監視においても検査対象となる死亡個体の回収等の異常は確認されなかった。

(参考)

○観察された鳥類 39種
うち、リスク種1 4種 (オシドリ、キンクロハジロ、オオタカ等)
リスク種2 5種 (マガモ、ホシハジロ、カイツブリ等)
リスク種3 9種 (ヒドリガモ、カルガモ、コガモ等)

*本調査結果は暫定値です。

*リスク種とは：「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、宮城県、岩手県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

※ 環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。 (http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成29年3月29日（水）

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

企 画 官：東岡 礼治（内線6475）

鳥獣専門官：根上 泰子（内線6676）

東北地方環境事務所野生生物課

直 通：022-722-2876

課長補佐：西野 雄一

自然保護官：木村 慈延